



2020年7月31日

各位

会社名 株式会社 船場
 代表者名 代表取締役社長 八嶋大輔
 (コード番号：6540 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 経営企画・財務経理担当
 秋山弘明
 (TEL. 03-6865-8195)

2020年12月期 連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年5月14日の公表において未定としておりました2020年12月期の連結業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2020年12月期 第2四半期連結累計期間 (2020年1月1日～2020年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	12,458	516	537	343	33.94
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考：前期実績) 2019年12月期 第2四半期累計期間	13,418	519	548	372	37.74

(2) 2020年12月期 通期 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	22,000	210	250	200	19.78
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考：前期実績) 2019年12月期 通期	28,363	1,271	1,327	964	97.29

(3) 修正の理由

2020年12月期の業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であったため未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報に基づき算定した業績予想を公表いたします。なお、依然として新型コロナウイルス感染症の収束は見通せない中で経済活動が再開されており、消費動向は徐々に回復の方向に進みながらも、当期期中は影響が残ることを前提とし、当社グループの事業への影響を想定し算定いたしました。

(第2四半期連結累計期間の業績予想の修正理由)

2020年12月期 第2四半期連結累計期間における業績につきましては、首都圏における開発案件を中心に事業を推進したものの、第2四半期以降は新型コロナウイルス感染症の影響で国内外ともに多くの業種業態及び顧客において開発計画の延期及び中止など設備投資に対する慎重な動きがみられました。当社グループにおきましても、その影響を受け、売上高及び各利益は上記の見込みとなりました。

(通期の業績予想の修正理由)

第3四半期以降におきましても、当社グループはこれまで同様、感染症拡大予防への対策を講じて事業を推進していく所存ですが、事業環境においては国内外で新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化が懸念され、顧客の投資抑制も続くことが予想されます。このような状況から、通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

今後の新型コロナウイルス感染症の第二波の発生や収束時期等により、その影響の範囲等は大きく変動する可能性があり、当社グループの業績に大きな影響が見込まれる場合には、速やかに業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 2020年12月期 配当予想の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(単位：円 銭)

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	—	—
今回修正予想	0.00	20.00	20.00
当期実績	—	—	—
(ご参考：前期実績) 2019年12月期	0.00	45.00	45.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要経営目標の一つとして位置付けており、財務体質や将来の事業拡大のために必要な内部留保とのバランスを図りながら、毎期の業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。

2020年12月期の業績予想は大変厳しい見通しではありますが、上記の基本方針を踏まえて、今後の経営環境や財務の健全性の維持及び企業価値の持続的な向上等を総合的に勘案した結果、年間配当金につきましては1株当たり20円とする予定です。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

以上